

九州電力は、社会の信用とお客さまとの

九州電力の社会的責任と「九州電力の思い」

皆さま、日頃から電気をお使いいただきありがとうございます。
ございます。

当社は、これまで、安全を最優先に、電気を安定的かつ効率的にお客さまにお届けし続けることが基本的使命であり、最大の社会的責任であるとの認識のもと、その責任を果たしていくことに誇りを持ち、地域社会と協調して、様々な事業活動に取り組んできました。

このようにして培ってきた社会的な信用とお客さまとの信頼関係は、当社の大きな資産であると考えています。

私は就任以来、「信用を培い、かつ維持する」ことを基本理念としておりますが、今後、エネルギー市場における競争がより本格化し、また、地球環境問題や資源エネルギー問題の深刻化、ライフスタイルの多様化など、社会が大きく変化する中においても、当社の社会的責任に変わりはなく、この社会的な信用を大切にしていきたいと思います。

また、このような時代の変化の中で、お客さまとの信頼関係をこれまで以上に強固なものとしていくために、この度、当社の目指す姿を「九州電力の思い」として取りまとめました。

これは、これからも変わることなく電力・エネルギーを安定してお届けすること、そして、お客さまの快適で環境にやさしい毎日に貢献していくことを約束するものです。

九州電力グループのCSR

九州電力グループでは、「九州電力グループ経営ビジョン」や「九州電力グループ行動憲章」に、

「お客さま、株主・投資家、社会、従業員の満足度を高めることにより、自らの企業価値を持続的に創造し、社会とともに発展する」という経営姿勢を掲げています。

この経営姿勢の実践こそが、九州電力グループの「CSR」であるとの認識のもと、中期経営方針（2005～2009年度）にも「CSRへの取組み」を最重点項目に挙げ、コンプライアンス経営、情報公開、環境経営、地域との共生などに積極的に取り組んでいます。

これらの取組みは、国や社会の情勢や要請に基づくものではなく、あくまでも自らの行動原理から湧き出るものとの考え方にに基づき、積極的かつ地道に取り組んでおり、このことが、結果として、九州電力グループの持続的な価値創造や競争力の向上にもつながるものであると考えています。

当社は、このような考え方のもと、CSRエクセレントカンパニーを目指した、実効ある施策を推進しており、さらに、昨年8月には、グループ会社で構成する「グループCSR推進部会」を設置し、グループ全体での推進体制を強化しました。

コンプライアンス経営の更なる推進に向けて

今回の報告書にも記載しておりますように、昨年度、国の指示に基づき、発電設備の点検を実施した結果、水力発電設備と火力発電設備で、合わせて5事象（605件）もの不適切な事例を確認しました。

いずれの事例も発電設備の安全性や環境保全等への影響はありませんでしたが、社会の皆さまの信頼を損なうことになり、誠に申し訳なく、深くお詫び申し上げます。

信頼関係を大切にします。

当社は、このことを重大かつ真摯に受け止め、今後、このようなことを二度と起こさぬよう、コンプライアンス意識の更なる徹底を含む再発防止策を着実に実施し、皆さまの信頼回復に努めてまいります。

皆さまとのコミュニケーションを通して

CSRへの取組みを更に充実させていくため、昨年6月に、「九州電力CSR報告書」を初めて発行し、様々な機会を通じて、お客さまをはじめとするステークホルダーの皆さまの「声」をお聴かせいただきました。

お寄せいただいたご意見やご要望につきましては、報告書にも記載のとおり、今後の取組みに反映させていただきます。貴重なご意見をありがとうございます。

今回も、この報告書を媒体とした皆さまとのコミュニケーションを通して、当社のCSRへの取組みを更に充実させていきたいと考えております。

皆さま、どうぞ忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。

2007年6月

九州電力株式会社
代表取締役社長

松尾新吾

